

実践『ペルソナ』通信 (No. 106)

「お直し用化粧品」に関する調査 Side-*Be*

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、女子大学生の「お直し用化粧品」についてアンケート調査を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科（担当：竹内光悦）」のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を研究する研究会です。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be*とは、写真観察を行い、実態を考察した調査レポートです。

総括

今回の調査では「絶対に持ち歩きたいお直し用化粧品」を1つ選んでもらい、使用している入れ物と共に写真観察を行いました。その結果から、ほとんどの人が口紅を持ち歩いていることが分かりました。その中でも、コロナ禍でマスクをする影響からか、落ちにくいティントリップが1番多い結果となりました。次に多かったのはパウダーで、こちらもコロナ禍によるマスクをする影響で顔のベタつきを抑えるために持ち歩かれていました。入れ物に関しては、様々な形が見られましたが、大きく分けてポーチ型と巾着型であることが分かりました。

調査結果のポイント

(1) 口紅または色付きリップを持ち歩いている人が多数

「絶対に持ち歩きたいお直し用化粧品」として口紅を持ち歩く人が多く、中でも色が落ちにくいティントリップを使用している人が多く見られました。一方で、普通のリップスティックを持ち歩く人は少数でした。

(2) デパートコスメよりプチプラコスメを持ち歩く人が多数

今回の調査では、デパートなどで売られている価格の高いブランドもののコスメよりも、ドラッグストアやバラエティショップで売られている価格の安いプチプラコスメを使用する人が多く見られました。

(3) パウダーはテカリを防止してくれるものが人気

今回調査をした人は全員、マスクに色がつかない無色で、皮脂を吸着しテカリを防止してくれるタイプのパウダーを使用していました。

(4) 入れ物はポーチ型と巾着型の2タイプが多数

入れ物は大きく分けてポーチ型と巾着型が多いことが分かりました。透明のケースで持ち歩く

人は少なく、中身が見えないような入れ物を使用する傾向にありました。また、化粧品のサイズが小さかったり、持ち歩く個数が少ない人は入れ物に入れないで持ち歩いていることがわかりました。

調査概要

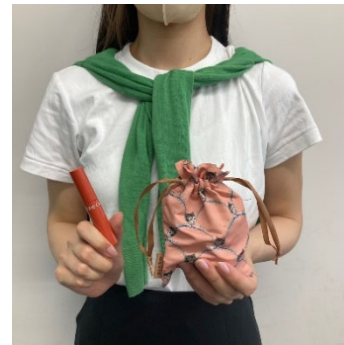
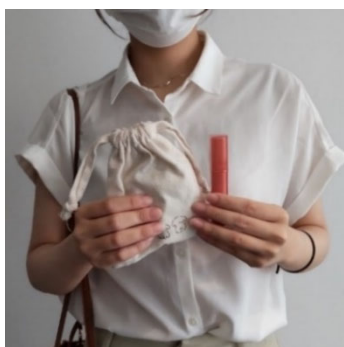
- 調査対象：実践女子大生（全学年、全学部）
- 調査方法：フィールドワークによる写真撮影および対象者観察
- 調査期間：2022年7月
- 調査場所：実践女子大学

調査担当者

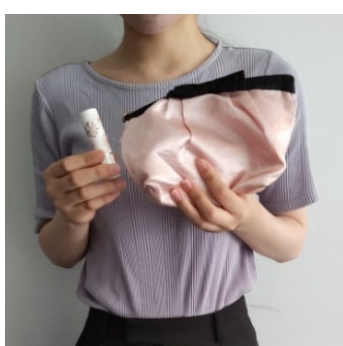
実践『ペルソナ』研究会 中田陽菜・西澤悠華・根津早弥花・三浦未乃梨

写真

【口紅】（ティントリップ）



(普通のリップスティック)



【パウダー】



【その他（アイシャドウ、ダブルライナー、ビューラー）】



調査後記

今回の調査を通じて、女子大生でお直し用化粧品を持ち歩く人は半数以上いることが分かりました。A面の調査結果通り、B面の写真観察でも絶対に持ち歩きたいお直し用化粧品として口紅をあげる人が最も多くいました。色持ちのよいティントリップが多く持ち歩かれていたのは、コロナ禍でのマスク着用ならではだと考えます。A面で1,000円以上2,000円未満が5割を占めていたことと写真観察から、全体的に価格が安いプチプラコスメが学生には好まれていると分かりました。

今回は対面での授業がメインになったことで、直接調査を依頼することができ、たくさんの方に調査に協力していただくことができました。学んだことや反省点がいくつか見られたので、この経験を今後の調査・分析に活かしていきます。

改めて、調査にご協力いただいた方々に感謝申し上げます。